

会 議 録

会 議 の 名 称	所沢市保健センター運営連絡会議
開 催 日 時	平成28年8月8日(月) 午後7時から午後8時15分
開 催 場 所	所沢市保健センター 301会議室
出 席 者 の 氏 名	<p>会長 矢倉 道泰(所沢市医師理事)</p> <p>副会長 小野 晃弘(所沢市歯科医師会理事)</p> <p>委員 斉藤 祐次(所沢市薬剤師会会長)</p> <p>倉部 陽司(所沢市社会福祉協議会介護サービス課長)</p> <p>二上 清次(保健センター長)</p> <p>岸 健次(保健医療課長)</p>
欠席者の氏名	なし
議 題	<p>(1) 平成27年度各団体及び所沢市保健センターの事業報告について</p> <p>(2) 平成28年度各団体及び所沢市保健センターの事業計画について</p> <p>(3) その他</p>
会 議 資 料	<p>平成28年度所沢市保健センター運営連絡会議次第</p> <p>(資料1) 平成27年度保健センター事業報告書</p> <p>(資料2) 平成28年度保健センター事業計画書</p> <p>所沢市保健センター運営連絡会議委員名簿</p> <p>所沢市保健センター運営連絡会議要綱</p> <p>所沢市保健センター運営連絡会議席次表</p>
担 当 部 課 名	<p>健康推進部保健センター健康管理課 電話04 - 2991 - 1811</p> <p>(市側出席者)</p> <p>健康推進部保健センター健康管理課 課長 瀬能 幸則</p> <p>健康推進部保健センター健康づくり支援課 課長 淵江 弘行</p> <p>健康推進部保健センター健康管理課 主幹 山崎 英雄</p> <p>健康推進部保健センター健康管理課 主査 渡邊 政人</p> <p>健康推進部保健センター健康管理課 主任 宮川 知也</p> <p>健康推進部保健センター健康づくり支援課 主査 矢野 康子</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開会
保健センター長	挨拶
事務局	各委員及び事務局職員より自己紹介を行った。 配布資料の確認を行った。
事務局	会議開催の前に、保健センター運営連絡会議要綱第5条に基づき、会長、副会長を委員の互選により決定したいと思います。立候補者または推薦はいますか。 (特に立候補、推薦等はなかった。)
委員	事務局から案がありますか。
事務局	(会長として矢倉委員、副会長として小野委員の選任を提案し、他の委員から了承を得られた。)
事務局	会長は矢倉委員、副会長は小野委員に決定しました。会長、副会長より挨拶をお願いします。
会長 副会長	(挨拶)
会長	これより、議事の進行を務めさせていただきます。まず、会議の公開等について事務局より説明をお願いします。
事務局	会議は原則公開、会議の記載方法は要約方法、会議録の確定は議長(会長)の承認による、とします。 (委員一同異議なし)
会長	傍聴者はいませんか。
事務局	傍聴者はありません。
会長	はじめに、議題1、平成27年度所沢市保健センター事業報告について

事務局	<p>て事務局より説明をお願いします。</p> <p>(資料1に基づき健康管理課事業、健康づくり支援課事業について報告を行った。)</p>
委員	<p>検診事業について、27年度の受診率はどの程度ですか。</p>
事務局	<p>受診率については、胃がん検診 3.3%、肺がん検診 4.2%、大腸がん検診 17.8%、乳がん検診 20.2%、子宮頸がん検診 22.5%、骨粗しょう検診 6.9%、成人歯科検診 3.2%となっています。</p>
会長	<p>その他、特に質問はないようですので、次に各団体から27年度の実績報告はありますか。</p>
委員	<p>医師会の訪問看護ステーションの事務所を保健センター内に構えております。27年度の実績について、訪問看護の延べ利用者数は785名/年(月平均65名、延べ訪問回数3765回、月平均313回)、訪問リハビリの利用者数は603名/年(月平均50名、延べ訪問回数2220回、月平均185回)となっております。</p> <p>また、職員配置については、看護師が常勤4名、非常勤1名、理学療法士が常勤2名、非常勤1名です。</p> <p>主な対象疾患については、悪性腫瘍、脳血管障害、脊柱管狭窄症、心疾患、骨粗しょう症、難病(パーキンソン病、脊髄小脳変性症、進行性筋ジストロフィー、多系統萎縮症、ALS等)、認知症、統合失調症、アルコール依存症、脳性まひ、頸椎損傷等です。</p> <p>主な処置内容については、在宅酸素、人工肛門、中心静脈栄養の管理、胃ろう、人口呼吸器、ターミナルケア、エンジェルケア、経管栄養、膀胱留置カテーテル、褥瘡等になります。以上です。</p>
委員	<p>歯科医師会の事業について、乳幼児歯科健診として、1歳6ヶ月児健診を年24回、3歳児歯科フッ素塗布を年12回、母子(妊婦)歯科健診を年8回実施しています。また、歯と口の健康週間事業や8020運動、成人歯科検診を年21回、2歳児歯科健康教室を24回、その他歯周病予防教室、健康まつりブース等を市と協力し行っています。また、保健センター内歯科診療所あおぞらの運営も行っており、障害者については年723名、高齢者については年350名、休日歯科診</p>

委員	<p>療については年300名の歯科診療を行っています。以上です。</p> <p>薬剤師会としては、各種会議や委員会、会員向けの研修会の開催、多職種との共催の研修会、薬学部学生の薬局実務実習の受け入れや研修会の開催、在宅医療推進のための薬剤師研修、ゲートキーパー研修、社会福祉協議会との連携に関する会議等を行ないました。その他、行政関係の会議・委員会へ参加しました。以上です。</p>
委員	<p>社会福祉協議会訪問介護ステーションの実績は、介護保険サービス利用者が50名（内要支援1・2が10名）、件数で年7,000件、障害福祉サービス利用者が35名、件数で月400件、視覚障害者に対する医療機関等への同行援助が月100件、利用者は35名になっています。以上です。</p>
会長	<p>その他何か質問はありますか。特に無いようですので、議題2、平成27年度所沢市保健センター事業計画について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料2に基づき健康管理課事業、健康づくり支援課事業について報告を行った。）</p>
会長	<p>委員の方から何か質問等ありますか。特に無いようですので、次に各事業所から28年度の事業計画の報告をお願いします。</p>
委員	<p>医師会から、所沢市医療介護連携支援センターの事業計画について説明します。</p> <p>平成27年10月に埼玉県基金（地域医療介護総合確保基金）により在宅医療提供体制充実をめざし医療介護の連携拠点となる所沢市医療介護連携支援センターを保健センター内に開設しました。主な活動内容は、（ア）地域の医療・介護の資源の把握（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援（オ）在宅医療・介護連携に関する相談（主に専門職からの相談に対応）（カ）医療・介護関係者の研修（キ）地域住民への普及啓発です。これらのセンター事業は、平成30年には市の地域支援事業（在宅医療・介護連携推進事業）に移行することになっています。</p>

	<p>具体的には、往診・訪問診療医の登録、在宅療養患者登録、在宅療養支援ベッド確保事業の運営、在宅療養に関する相談、6ブロックの医療介護連携会議や多職種が会する協議体の運営、在宅療養支援マップの監修、住民向けの講演会やシンポジウムの開催などがあります。現状として、在宅療養に関する相談は月6～10件で往診・訪問診療医や転院先の医療機関の紹介や在宅療養困難ケースの相談などがあります。また、在宅療養支援ベッド確保事業については、平成28年4月から8つの登録医療機関（所沢市市民医療センター、所沢ロイヤル病院、所沢中央病院、所沢第一病院、所沢緑ヶ丘病院、埼玉西協同病院、並木病院、佐々木記念病院）により運営し、在宅療養患者の急変に備えてスムーズに入院できる空床を確保するもので、在宅医の後方支援につながっています。現在、往診・訪問診療医登録44名、患者登録226名、在宅療養支援ベッド利用延べ11名となっています。また、地域包括ケアシステム構築の取り組みで重視されている認知症施策については、来年4月稼働を目指す認知症初期集中支援チームの体制づくりや認知症ケアパス作成に向けて市と医師会が協働していくこととなります。以上です。</p>
委員	<p>歯科医師会の28年度の事業としては、歯と口腔を通して全身の健康増進を図る事業、地域社会の保健と福祉の増進に関する事業、障害者・高齢者の保健と福祉の増進に関する事業を掲げて参りたいと思います。具体的には、あおぞら歯科事業の実施、8020運動、歯と口の健康週間事業の実施、医療連携推進、介護支援事業、在宅歯科医療の推進、学校歯科保健の向上及び養護教員との連携に努めていきます。また、障害者への職支援事業、摂食・嚥下に関する研修、介護職を対象とした研修等を行う予定です。以上です。</p>
委員	<p>薬剤師会としては、27年度の事業に加えて、国民健康保険課と協力して薬の相談事業を予定しています。また、ジェネリックの利用促進及び医療費の抑制、在薬の有効活用、医師会と連携し在宅療養支援マップの作成、市民向け啓発事業を計画しています。</p>
委員	<p>社会福祉協議会としては、地域包括ケアシステムの構築、多職種との連携強化に努めて参ります。また、課題としては訪問介護員の募集方法の見直し、平成29年度から要支援1が介護保険から市の総合事業</p>

	<p>へ移行するため、対応準備となります。その他、前年度と同様の事業を展開して予定となります。以上です。</p>
会長	<p>委員の方から何か質問等がありますか。</p> <p>無いようですので、議題（３）その他に何かありますか。</p>
委員	<p>保健センター内歯科診療所あおぞらについて、毎週木曜日の午前中に障害者を対象に診察を行っており、駐車場については２台分を保健センターの協力を得て確保させてもらっています。しかし、車での来所者が多いため、あと数台をあおぞら受診者用として確保可能かどうか、保健センターへ伺いたい。</p>
事務局	<p>状況は理解できますので、センター内で検討の上、対応したいと考えます。</p>
委員	<p>保健医療課より、保健医療計画について、資料を基に紹介させていただきます。</p> <p>内容としては、市民の皆様の健康維持・増進、また安心して医療を受けられる医療提供体制の実現のため、市が実施している保健医療事業の取り組みの整理、さらに今後の方向性を加えたものとなっています。特徴は、市としては初となる保健と医療が一体となった計画であり、計画期間は平成２８～３１年度までの４年間となっています。</p> <p>概要版の体系については、章が７つで構成されており、前半部分は健康日本２１（健康ところ２１）、所沢市食育推進計画（食育プラン）、所沢市母子保健計画を包含したものとなっています。後半部分、健康を損ねた場合の医療に関連したものとして、市民医療センターや歯科診療所あおぞらについての項目となっています。</p> <p>なお、各章は１～４つの節で構成され、各節はさらに小項目に分かれています。</p> <p>最後に、この計画の特徴としては、期待される市民自らの取組という項目を設け、市民の方々のご協力を頂くという記載を本編には載せています。</p> <p>以上です。</p>
事務局	<p>保健センターより報告があります。１点目は、本年６月に保健センター１階ロビーにＡＥＤを設置しましたので報告します。</p>

	<p>2点目は、保育園の代替施設の候補地として保健センターが挙がっていることについてです。具体的には、公立保育園の耐震診断を行ったところ、5園の耐震強度が不足していることから、来年度耐震工事を行うため、園が利用出来ない工事期間中に、他の公共施設を保育園の代替施設として園児を受け入れるというものです。この代替施設の候補地として、保健センター、学校、公民館等が挙げられております。仮に、保育園の代替施設となった場合、保健センター内の旧デイサービスがあったスペースが園の代替スペースとなる予定です。このスペースは昨年度改修を行ない、主に会議室や多目的スペース、アウトリーチスタッフルームとして使用されています。この場所で行っている事業が他の3階会議室や多目的ホールに移った場合、工事期間中（平成29年9月～平成30年2月）は保健センターのホールや会議室の使用に制限が生じる可能性が高くなります。</p> <p>会議や講演会等で会議室・多目的ホールを使用してきた各団体につきましては、ご理解ご協力を頂きたいと思っております。また、保育園の代替施設として正式決定となった場合は、本日お集まりの各団体へもお知らせしたいと思っております。以上です。</p>
委員	<p>5園すべての代替施設の候補となっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>5園のうち、安松保育園と北秋津保育園の2園の代替施設の候補地となっています。期間をずらして2園の園児を受け入れるというものです。</p>
会長	<p>それでは他に委員の皆様よりご意見がないようですので、以上で会議の議題については終了したいと存じます。ご協力有難うございました。事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>これで平成28年度保健センター運営連絡会議を終了とします。</p>
	<p>閉会</p>